

全10日間、魅力の催し満開。
 国民文化祭・熊本の舞名は、県下の北から南まで、8つの市で。
 感動はナマで、
 あなたの近くにやってきました。

うた
8 ふるさとの民謡
「ハイヤの系譜をたどる」

●10月4日(日) PM 2:00~6:00
 ●牛深市総合センター・文化会館

第1部「ハイヤの系譜をたどる」
 牛深から全国に広まったハイヤ系民謡の競演。
 第2部「ふるさとの香り」
 人々の暮らしの中で生まれ、歌い継がれてきた貴重な生活の証し、民謡。全国各地に伝わるさまざまな民謡に民舞を加えて、民謡の楽しさを満喫します。
 第3部「地元と全国の交歓バラエティーステージ」
 くまもとの優れた民謡を全国に紹介。



13 アマチュアミュージックフェスティバル

●10月9日(金) PM 6:00~8:30
 ●水俣市文化会館

「響けおれたちのサウンド」と銘打ち、90年代の末体験のサウンドを目指した、ビート溢れるステージングを展開します。全国の名うてのアマチュアバンドが、どんなプレイで会場を乗せてくれるか楽しみです。

14 文化フォーラム

●10月9日(金) PM 1:30~5:30
 ●熊本郵便貯金会館ホール

文化は、地域おこしの、古くて新しい素材。田園文化圏の創造をめざす熊本で、文化を素材として情報化社会に対応するソフトづくりについて語り合います。
 ●記念講演会「藩校と地方文化」
 ●シンポジウム「情報化を迎える地方文化」

18 全国同人誌大会

●10月3日(土)▶10月11日(日)
 ●熊本県立図書館・熊本近代文学館

全国で活動している同人誌(小説、評論)の紹介、同人出身の著名作家の資料展示などを行います。展示期間中は、作家による講演。作家、プロの編集者などをまじえた公開討論会も予定しています。

19 くま川野外造型祭

●10月3日(土)▶10月11日(日)
 ●八代市球磨川選擇運河川敷

自然と人間との遊びコミュニケーション。土、石、緑、そのほか考えられるあらゆるものをモチーフにした、自由な造型の祭典。



全国から集めたユーモアたっぷりのかつは像も、愉快です。

20 美術展

●10月6日(火)▶10月11日(日)
 ●熊本県立美術館

展示点数600点におよぶ、日曜画家たちの伸びやかな感性の散歩道。個性の数だけ作風がある、気ままな力作ぞろい。ナイーブな筆づかいと、日常からの視点は、きっと新鮮な感銘を心に与えてくれるでしょう。

県民183万人が文化祭の主役。盛り上がりをつくるのはあなたです。

国民文化祭・熊本では、皆さんからの作品を募集しています。ご応募ご希望の方は、下記のとこまでお問い合わせください。募集内容等の詳細をお教えします。

第2回国民文化祭熊本県実行委員会事務局
 熊本市大江2丁目7-1(熊本県立劇場2F)
 ☎096(363)1181

尚、自主企画による協賛イベントで参加されたい場合も、先のお問合わせ先まで。

3 創作バラエティーステージ
「翔けYOUNG」

●10月3日(土) PM 1:30~4:00
 ●熊本県立劇場演劇ホール

音楽・舞踊・演劇などそれぞれの分野で、創造活動が続いている若きクリエイターたちのエネルギーが、舞台上に炸裂。熱気溢れる素晴らしいパフォーマンスを見せてくれます。



9 文化シンポジウム(日本麺文化会議)

●10月5日(月) PM 1:30~4:30
 ●熊本市産業文化会館

麺大好きなシンポジストを迎えての、ユニークなシンポジウム。わたしたちの食生活の中で確固たる地位を占めている種類の人気の秘密を、歴史、地域性、科学性、栄養学など、いろんな角度から楽しく探ります。

10 ふるさと映像祭

●10月5日(月) AM 10:00~PM 5:00
 ●山鹿市民会館ホール

全国から公募した優秀ビデオ作品を上映し、カメラアイクが描いた「私のふるさと」を鑑賞します。漫画家手塚治虫氏による基調講演のあとは、ビデオ作品審査員によるシンポジウム「市民が作るふるさと映像文化」を予定しています。



16 生活文化フェスティバル

●10月3日(土)▶10月8日(木)
 ●熊本市総合体育館・青年会館、熊本市立体育館

わたしたちの普段の暮らしと密着した17ジャンルの生活文化の展示・実演。改めて見直してみると、その価値の大きさにビックリ。

17 一万人大茶会

●10月10日(土) AM 10:00~PM 4:00
 ●水前寺公園

茶道界の各流派合同の大茶会を、桃山様式の回遊式庭園である名園水前寺公園において、開催します。茶道愛好者だけでなく、一般の人々も参加できる華やかな野点です。



1 オープニングパレード

●10月2日(金) PM 5:00~6:30 ●熊本市街
 ●特設ステージ PM 1:00~8:30

開幕を告げる、にぎやかな歓迎のパレード。目抜き通りを、鼓笛隊、カラーガード隊、ダンジリ、ガム等が練り歩きます。また、交通センター前広場には特設ステージを設け、太鼓、ロックバンド、踊りなどの競演をくりひろげます。アトラクションには、ロボットによる似顔絵描き、楽しい出店も登場します。

2 開会式・総合フェスティバル
「創造への翔き」

●10月2日(金) PM 6:00~8:30
 ●熊本県立劇場演劇ホール

日本各地の郷土色豊かな伝統文化を土台に、ジャンルを超えた文化の祝祭がくりひろげられます。新しい創造への息吹きが、感動で客席をつつむフェスティバルです。
 ●オープニング映像パフォーマンス「火の国の物語」
 ●創造への翔き「21世紀への躍動」
 ●翔けYOUNG ●継承と調和「五木の里」
 ●再生「日本の旋律」 ●歓喜「カーニバル」
 ●出発・若者からの提言「サウンドメッセージ」

4 コーラスと吹奏楽による音楽の祭典
「子守唄の里 ふれあいコンサート」

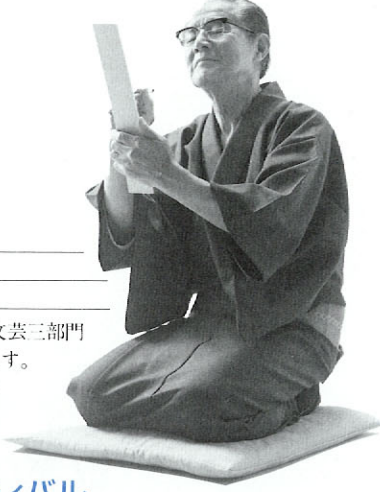
●10月3日(土) PM 2:00~8:00
 ●人吉市・カルチャーパレス大ホール

子守唄の調べとともに、いつしか夢心地。なごやかな内に、ステージと客席が一つになる楽しい合同演奏会のひとときを。
 第1部 吹奏楽のイベント(コンサート・ステージドリル)
 第2部 合唱のイベント
 第3部 合同(合唱、吹奏楽)のイベント

5 文芸(短歌・俳句・川柳)大会
「ひのくに一万吟」

●10月3日(土) PM 1:30~5:00
 ●菊池市文化会館ホール

菊池万句(連歌一万句)ゆかりの菊池市で、文芸三部門(短歌・俳句・川柳)合同の文芸大会を開催します。事前に公募した作品の講評と優秀作の発表も、この時行います。



6 演劇フェスティバル
「地域ことばと演劇」

●10月3日(土) PM 1:30~6:00、10月4日(日) PM 1:30~6:30
 ●荒尾総合文化センター

地域に根ざしたテーマを、方言で演じる劇団を集め、お国言葉の味わいとふるさとのひととなりを考えます。
 ●ミニフォーラム「方言の魅力」金田一春彦、「役者と方言」杉山とく子、「にわか言葉」(博多、佐賀、肥後)

11 吟詠剣詩舞道祭

●10月7日(水) PM 1:00~5:00
 ●熊本県立劇場演劇ホール

全国の生え抜きの吟士たちが一堂に集まり、50名合吟太鼓などを取り入れたユニークな吟詠、最高の吟士の組み合わせによる構成吟などを披露。4時間にわたる伝統芸の圧巻の絵巻が楽しめます。

12 民話フェスティバル

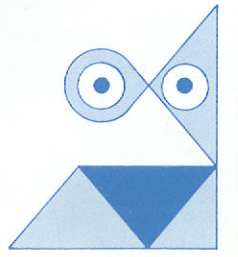
●10月8日(木) PM 6:00~8:30
 ●八代市厚生会館ホール

全国各地を代表する民話の語り部たちが、ふるさとの温もりのする話を、方言をまじえて語ってくれます。民話の尋ね歩きでも知られる俳優・沼田曜一さんをコーディネーターに、民話の世界が優しくひろがります。大スクリーンを使った美しいカラー影絵「つるの恩返し」や、子供たちによる「ミュージカル彦一」も、上演予定。

7 アマチュアオーケストラ祭

●10月4日(日) PM 2:00~5:00
 ●熊本県立劇場コンサートホール

あなたも、オーケストラ体験。コンダクター・コーナー、自由参加の大合唱を加えた、楽しい大演奏会です。



第2回 **国民文化祭・熊本**

●10月2日(金)▶10月11日(日)